

2025年12月期 決算補足説明資料

株式会社 ミズホメディー(証券コード4595)

2026年3月6日

- I 会社概要**
- II 2025年度 決算実績
2026年度 業績予想
- III 今後の成長戦略
- IV 事業概要（ご参考）

会社概要



- 商号 株式会社 ミズホメディー（証券コード4595）
- 設立 1977年11月2日
- 本社所在地 佐賀県鳥栖市藤木町 5 番地の 4
- 代表者 代表取締役会長兼社長 唐川文成
- 従業員数 193名（2025年12月31日現在）
- 事業内容
 - ・病院・開業医向け体外診断用医薬品の開発・製造・販売
 - ・OTC（薬局・薬店）向け検査薬の開発・製造・販売
- 主要取引先（順不同）
株式会社メディセオ、東邦薬品株式会社
株式会社スズケン、アルフレッサ株式会社
株式会社アステム、富士フィルム株式会社 他
- 営業拠点
 - ・本社 ・東京営業所 ・大阪営業所
 - ・名古屋営業所 ・その他各地駐在
- 工場・開発拠点
 - ・本社・工場（佐賀県鳥栖市）
 - ・久留米工場・遺伝子研究所（福岡県久留米市）



本社・工場（佐賀県鳥栖市）



久留米工場・遺伝子研究所（福岡県久留米市）



もっと人のために。

わたしたちは、臨床検査薬を通じ、
確かな技術力で社会へ貢献してまいります。

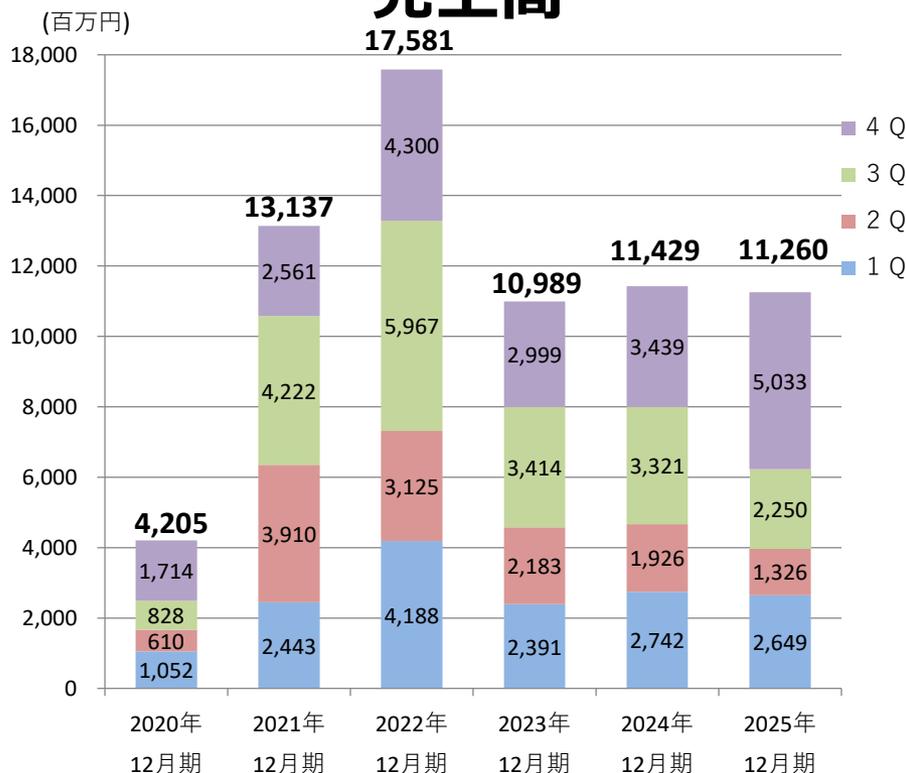
- I 会社概要
- II 2025年度 決算実績
2026年度 業績予想**
- III 今後の成長戦略
- IV 事業概要（ご参考）

2025年12月期 決算実績 業績の推移（売上高、経常利益・当期純利益）

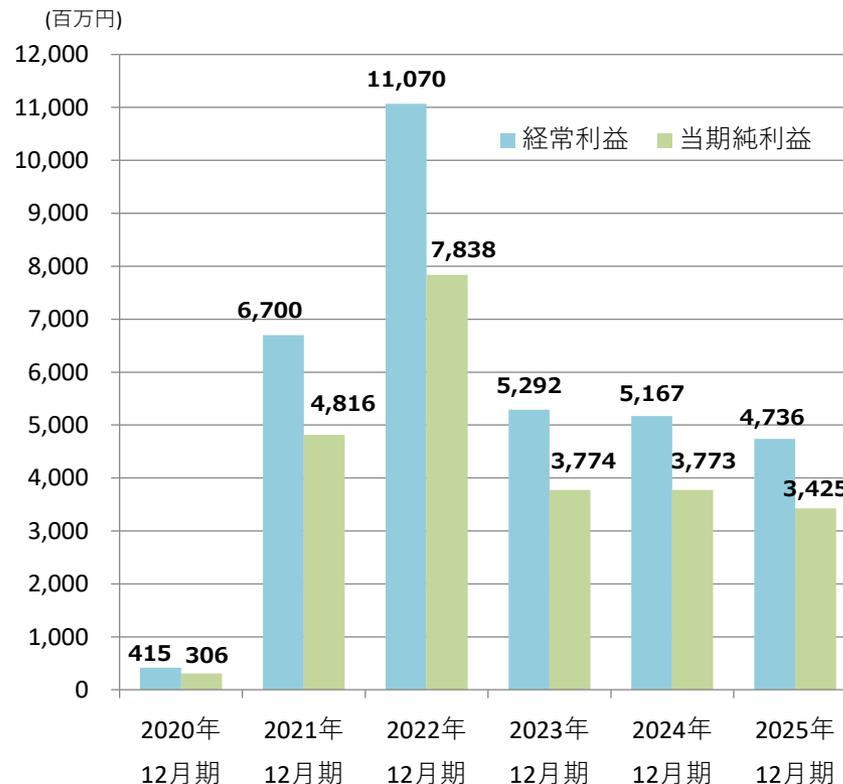


- 2023年以降：新型コロナウイルス感染症の5類移行により遺伝子から抗原検査へシフト
- 2021年～2022年：新型コロナウイルス検査薬の売上高が急増、大幅な増益
- 2020年：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上高・利益は大幅に減少

売上高



経常利益・当期純利益

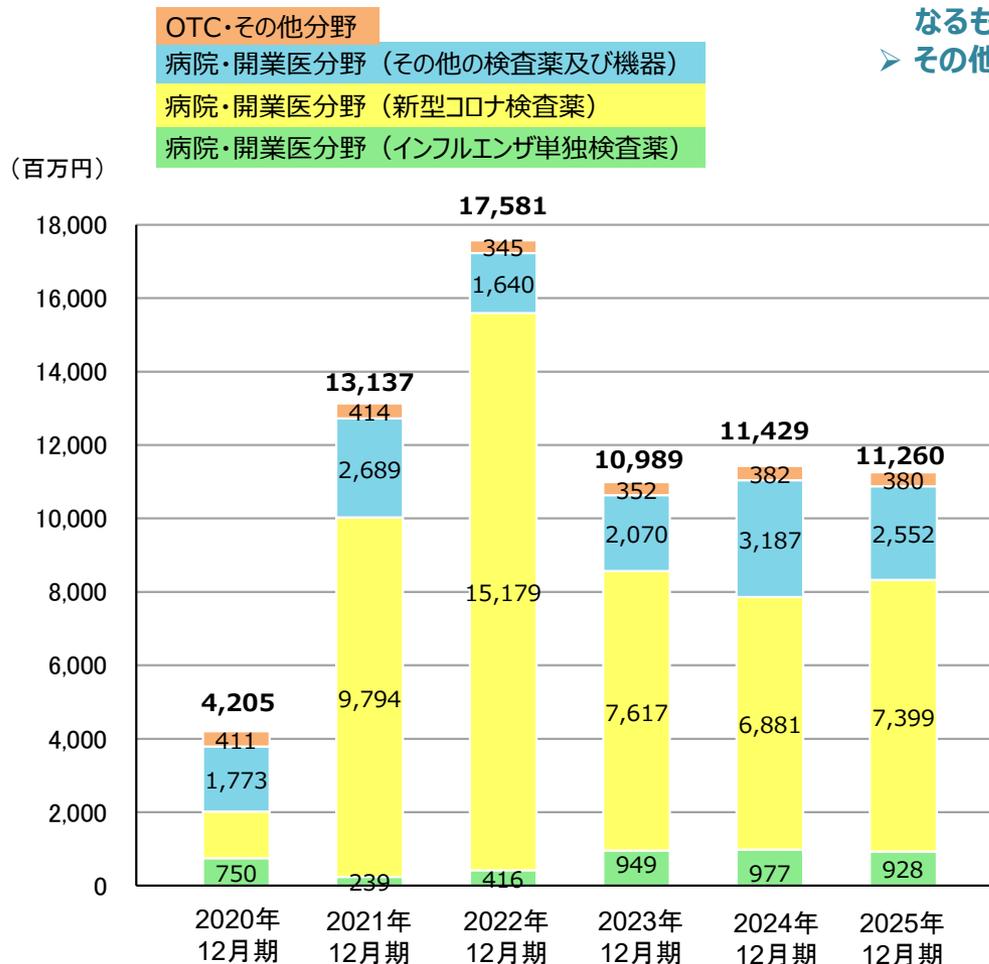


※2022年12月期以降の売上高は「収益認識に関する会計基準」等適用後の数値

2025年12月期 決算実績 市場分野別の売上高推移



市場分野別の売上高



2025年12月期 実績（11,260百万円 前期比1.5%減）

- 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、遺伝子検査キットは減収となるも、抗原キットの増収がカバー
- その他の検査薬及び機器の売上高が減少

■ 病院・開業医分野（10,880百万円 同1.5%減）

◇ 新型コロナ検査薬（7,399百万円 同7.5%増）

- ・遺伝子検査キット（スマートジーン SARS-CoV-2）16万テストと減少（前期は32万テスト）
- ・抗原キット（CoV/Flu同時検査、CoV単独、銀増幅法）計916万テスト（前期は708万テスト）と大幅増加

◇ インフルエンザ単独検査薬（928百万円 同5.1%減）

- ・11月中旬には警報レベルを超える異例の速さで感染拡大するも、CoV/Flu同時検査の需要が急増し、インフル単独は減少

◇ その他の検査薬及び機器（2,552百万円 同19.9%減）

- ・その他の感染症項目の検査薬は、前期急拡大の反動によりマイコプラズマ、A群β溶血連鎖球菌、流行性角結膜炎などの検査項目で減収
- ・全自動遺伝子解析装置 Smart Geneの出荷台数は、約310台（前期は約350台）、累計販売台数 5,900台

■ OTC・その他分野（380百万円 同0.7%減）

- ◇ 妊娠検査薬及び排卵日検査薬
一定の安定的な需要が継続のため前期とほぼ同水準

※2022年12月期以降の売上高は「収益認識に関する会計基準」等適用後の数値

2025年12月期 決算実績 損益計算書 P/L (前期比・予想比)



- 売上高 11,260百万円 (前期比 1.5%減、予想比 2.6%減)
- 経常利益 4,736百万円 (前期比 8.3%減、予想比 6.4%増)

- ✓ 前期比 : 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、遺伝子検査は減収となるも、各抗原キットの増収でカバー。その他感染症項目は一部を除き、前期流行の反動により減収
- ✓ 予想比 : 新型コロナウイルス感染症において、当初の想定よりも流行が小規模であったため、売上高・利益とも大幅に下振れしたため、2025年6月23日に下方修正

(百万円)

	2024年12月期		2025年12月期							
	前期実績		25/2/7当初予想		当期実績		前期比		予想比	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	構成比 %	増減額	増減率 %	増減額	増減率 %
売上高	11,429	100.0	11,565	100.0	11,260	100.0	△168	△1.5	△305	△2.6
売上総利益	8,083	70.7	8,049	69.6	7,819	69.4	△264	△3.3	△230	△2.9
販売費及び一般管理費	3,166	27.7	3,616	31.3	3,172	28.2	6	0.2	△443	△12.3
営業利益	4,917	43.0	4,432	38.3	4,646	41.3	△270	△5.5	213	4.8
経常利益	5,167	45.2	4,450	38.5	4,736	42.1	△430	△8.3	286	6.4
当期純利益	3,773	33.0	3,231	27.9	3,425	30.4	△348	△9.2	193	6.0

2025年12月期 決算実績 経常利益 増減要因



- 新型コロナウイルス感染症の遺伝子検査から抗原検査へのシフトの影響により、遺伝子検査キットは減収となるも、各抗原キットの増収でカバー。その他感染症項目は一部を除き、前期流行の反動により減収
- 人件費は減少したものの研究開発費及びその他の経費が増加
- これらの結果、2025年12月期の経常利益は、4,736百万円



2025年12月期 決算実績 貸借対照表 B/S（資産）



（百万円）

	2024年 12月期	2025年 12月期	増減額	主な増減内容
流動資産	17,998	19,580	1,581	
現金及び預金	11,246	10,825	△421	
売上債権	4,545	6,225	1,680	・主に売掛金の増加
たな卸資産	2,048	2,405	357	・主に抗原キット関連の増加
その他流動資産	158	123	△34	
固定資産	2,730	2,795	64	
有形固定資産	2,271	2,264	△6	
無形固定資産	10	36	26	
投資その他の資産	448	493	45	
資産合計	20,729	22,375	1,646	

2025年12月期 決算実績 貸借対照表 B/S（負債・純資産）



（百万円）

	2024年 12月期	2025年 12月期	増減額	主な増減内容
流動負債	2,287	2,660	373	
仕入債務	518	482	△36	
短期借入金	—	—	—	
その他流動負債	1,768	2,178	410	・主に未払法人税等の増加
固定負債	1,087	1,029	△58	
長期借入金	—	—	—	
その他固定負債	1,087	1,029	△58	
負債合計	3,375	3,690	315	
株主資本	17,353	18,684	1,330	
資本金	464	464	—	
資本剰余金	274	274	—	
利益剰余金	16,616	17,945	1,330	・2024年期末配当金△1,142 ・2025年中間配当金△952 ・当期純利益3,425
純資産合計	17,354	18,684	1,330	
負債純資産合計	20,729	22,375	1,646	

2025年12月期 決算実績 キャッシュ・フロー計算書



(百万円)

	2024年 12月期	2025年 12月期	主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,348	1,956	<ul style="list-style-type: none"> ・税引前当期純利益 (+4,736) ・減価償却費 (+266) ・売上債権の増加 (△1,680) ・法人税等の支払 (△1,155) ・棚卸資産の増加 (△357)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307	△7,284	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金の預入 (△10,028) ・有形固定資産の取得 (△255) ・定期預金の払戻 (+3,028)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,094	△2,077	<ul style="list-style-type: none"> ・配当金の支払 (△2,077)
現金及び現金同等物の増減額	948	△7,405	
現金及び現金同等物の期首残高	8,716	9,664	
現金及び現金同等物の期末残高	9,664	2,259	

2026年12月期 業績予想 市場分野別 売上高予想



予想の前提： ■新型コロナウイルス検査薬は、流行規模は年々縮小傾向にあるが、今後も夏場・冬場の流行は一定数続くと見込む

■感染症全般としての年間を通じた流行規模あるいは検査需要について、過去2～3年と同程度で推移するものと見込む

◆病院・開業医分野 — 11,043百万円 (前期比 1.5%増)

- 新型コロナの遺伝子検査キットは、抗原検査へのシフトが進むものの、院内感染防止のための「無症状者の陰性を確認する高精度な検査」として、一定の安定的な需要が継続することを見込み、約6億円(12万テスト)
- 新型コロナの抗原検査キット (CoV/Flu同時検査、CoV単独、高感度銀増幅法等)は、約68億円(970万テスト)

◆OTC・その他分野 — 385百万円 (前期比 1.3%増)

(百万円)

	2025年12月期		2026年12月期			
	当期実績		次期通期予想			
	売上高	構成比%	売上高	構成比%	増減額	増減率%
■病院・開業医分野	10,880	96.6	11,043	96.6	163	1.5
(新型コロナ検査薬)	7,399	65.7	7,472	65.4	72	1.0
(インフルエンザ(単独)検査薬)	928	8.2	1,129	9.9	201	21.7
(その他の検査薬・機器)	2,552	22.7	2,440	21.4	△111	△4.4
■OTC・その他分野	380	3.4	385	3.4	5	1.3
合計	11,260	100.0	11,428	100.0	168	1.5

2026年12月期 業績予想 通期業績予想（見積損益計算書 P/L）



➤ 2026年12月期 通期業績予想

- 売上高 11,428百万円（前期比 1.5%増）
- 営業利益 4,414百万円（前期比 5.0%減）
- 経常利益 4,437百万円（前期比 6.3%減）
- 当期純利益 3,220百万円（前期比 6.0%減）

- 遺伝子POCT機器・試薬システムの新項目開発や次世代システムの開発に重点を置き、研究開発投資を促進
- 生産ラインの新設、製造工程の自動化・機械化による生産能力の拡大や物流課題への対応による供給能力の向上
- 製造、販売、管理部門等、全社的な人材確保・人員の増強

（百万円）

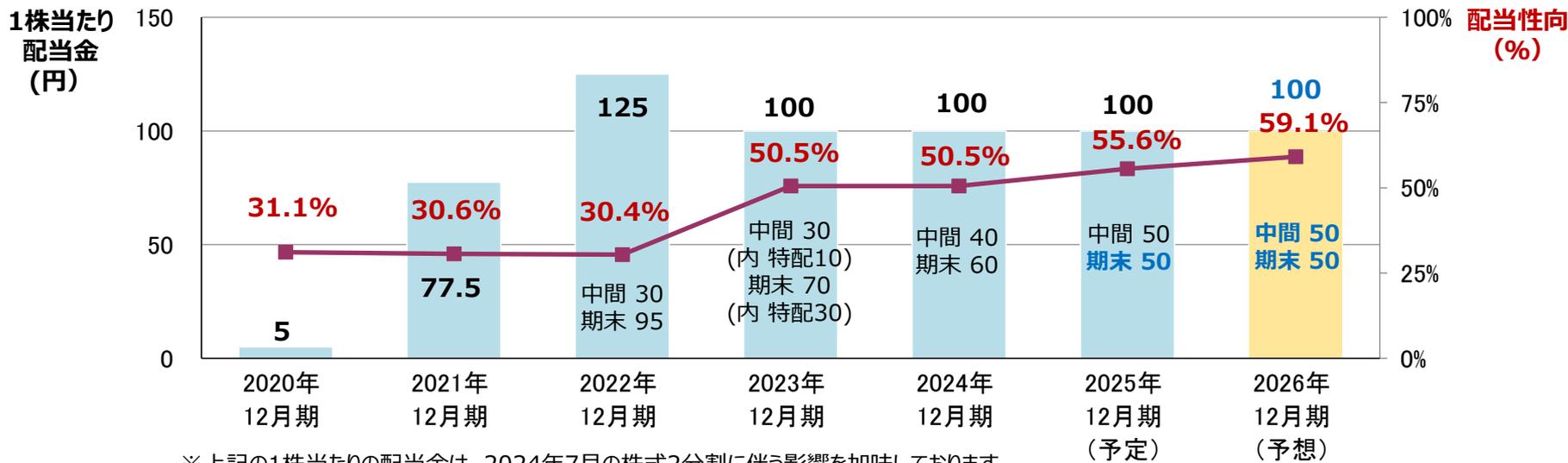
	2025年12月期		2026年12月期			
	当期実績		次期通期予想			
	金額	構成比%	金額	構成比%	増減額	前期比%
売上高	11,260	100.0	11,428	100.0	168	1.5
売上総利益	7,819	69.4	7,888	69.0	69	0.9
販売費及び一般管理費	3,172	28.2	3,474	30.4	301	9.5
営業利益	4,646	41.3	4,414	38.6	△232	△5.0
経常利益	4,736	42.1	4,437	38.8	△299	△6.3
当期純利益	3,425	30.4	3,220	28.2	△204	△6.0

配当性向50%を目標とし、安定的かつ充実した株主還元を継続

配当方針

『業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定』

- 2022年12月期まで ⇒ 配当性向30%
- 2023年12月期 ⇒ 配当性向30% + 特別配当 = 配当性向50%
※株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、特別配当を実施
- 2024年12月期より ⇒ **配当方針の変更「配当性向50%目標、中間配当と期末配当の年2回」**
※株主の皆様への利益還元の姿勢をより明確にし、かつ充実させるため配当方針を変更

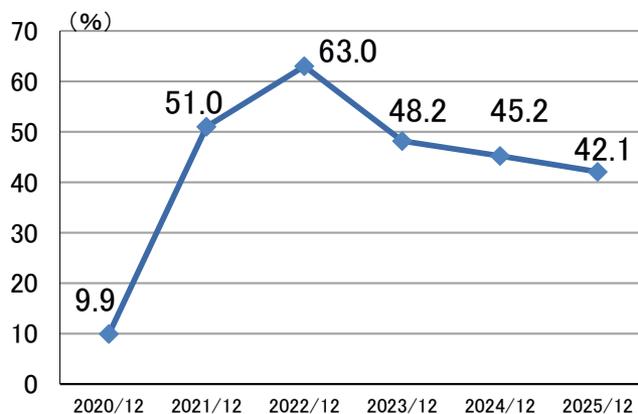


※上記の1株当たりの配当金は、2024年7月の株式2分割に伴う影響を加味しております。

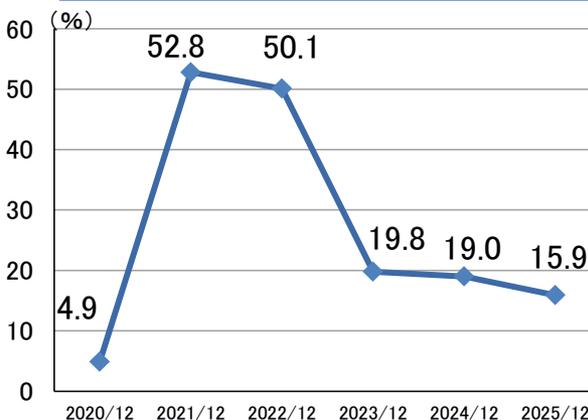
財務比率等の推移



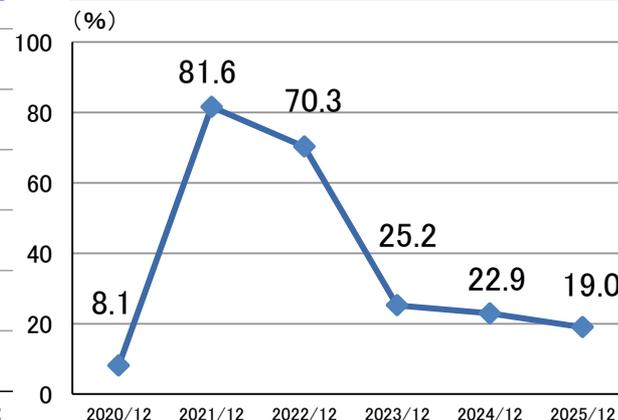
売上高経常利益率



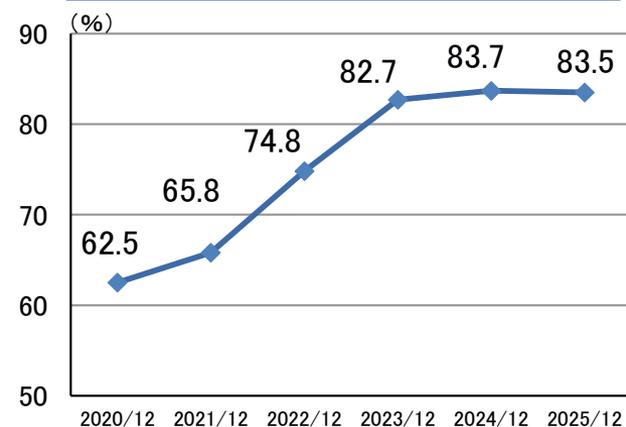
総資産利益率 (ROA)



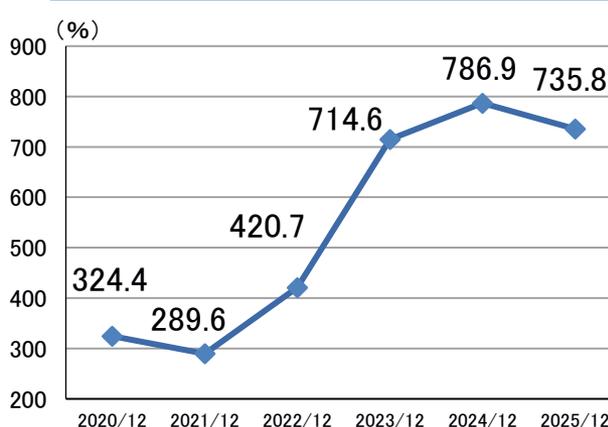
自己資本利益率 (ROE)



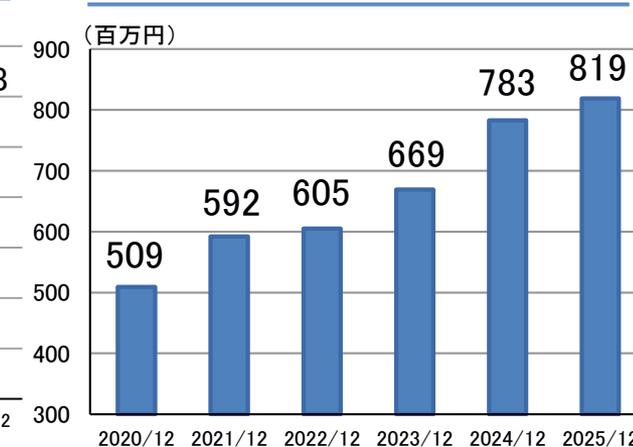
自己資本比率



流動比率



研究開発費推移



- I 会社概要
- II 2025年度 決算実績
2026年度 業績予想
- III 今後の成長戦略**
- IV 事業概要（ご参考）



確定診断とスクリーニングの両輪で感染症診断領域をカバー

確定診断（遺伝子POCT）

Smart Gene シリーズ

呼吸器感染症

新型コロナウイルス
マイコプラズマ・ニューモニエ
インフルエンザウイルスA,B

消化器感染症

H.pylori菌、CDトキシン

スクリーニング診断（抗原迅速検査）

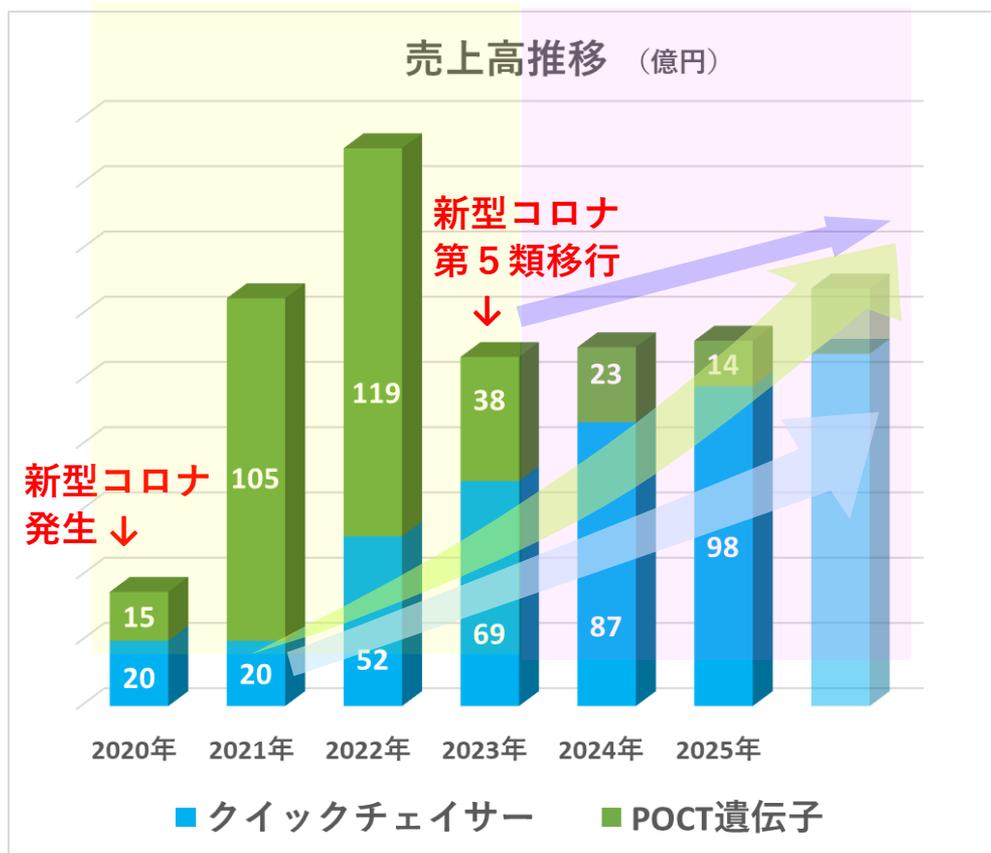
クイックチェイサー（Auto）シリーズ

小児を中心とした呼吸器感染症

インフルエンザウイルスA,B、新型コロナウイルス
RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、A群β溶連菌
マイコプラズマ・ニューモニエ、アデノウイルス
肺炎球菌、レジオネラ

消化器感染症

ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス
H.pylori菌、CDトキシン



遺伝子POCT技術による成長戦略



遺伝子POCTシステム Smart Geneシリーズの特徴を活かした製品群

呼吸器感染症分野

SARS-CoV-2 RNAの検出

スマートジーン® SARS-CoV-2



インフルエンザウイルスRNAの検出

スマートジーン® Flu A,B



マイコプラズマ・ニューモニ DNAの検出 及び耐性変異の検出

スマートジーン® Myco



全自動遺伝子解析装置

Smart Gene®

早期確定診断 ⇒ 早期治療, 感染防御

- ・コンパクトで低コストの装置
- ・前処理不要 1ステップ
- ・検体滴下から40~50分で検査出力
- ・結果プリントアウト (ネットワーク対応)

消化器感染症分野

クロストディオイデス・デフィシル トキシンB DNAの検出

スマートジーン® CD トキシンB



ヘリコバクター・ピロリ DNAの検出 及び耐性変異の検出

スマートジーン® H.pylori G



薬剤耐性の同時鑑別 ⇒ 抗菌薬適正使用

- ・Qプローブ法により
薬剤耐性変異の同時検出

遺伝子POCT技術による成長戦略



感染初期の遺伝子検査需要を拡大（スクリーニング&確定診断）

確定診断を迅速に治療・投薬へつなげる

基幹病院

遺伝子POCT

クリニック・市中病院

呼吸器重症感染症

機器・試薬システム

小児科内科呼吸器感染症

- ・コンパクトで低コストの装置
- ・簡易迅速な操作法
- ・Qプローブ法により同時変異検出

消化器感染症

消化器感染症



グレードアップ

泌尿器・婦人科感染症

泌尿器・婦人科感染症

院内感染症予防

- ・多項目・複数テスト同時測定
- ・より速く
- ＜更なるイノベーションへ＞
- DX（ネットワーク、クラウド）

人間ドック（検診）



新たなる遺伝子診断市場への展開

遺伝子POCT技術による成長戦略



新たなる遺伝子診断市場への展開～ハードとデータを融合した次世代POCT戦略を推進

迅速マルチ遺伝子POCT検査システム

より速く、手軽で簡便に(15分以内)

複数テストを同時測定

臨床データをオンラインで収集・分析

流行や変異などの疫学情報を共有・提供



製品イメージ



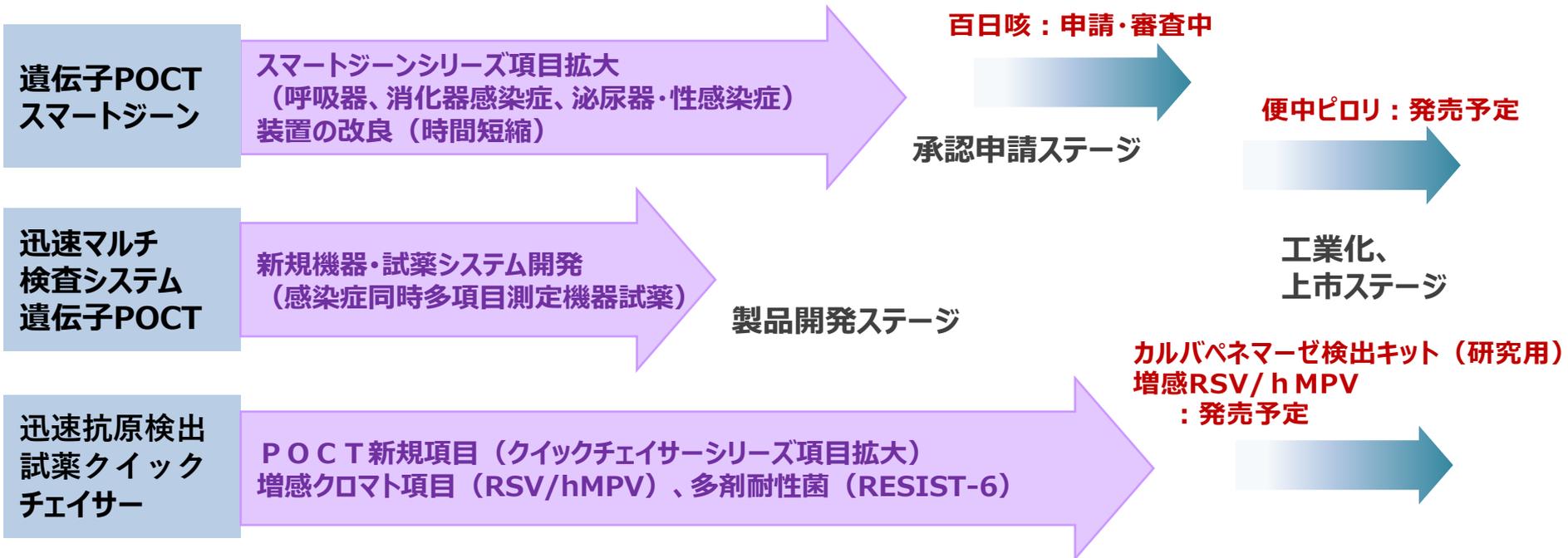
技術開発を基盤とした当社成長戦略



➤ R&Dステージ



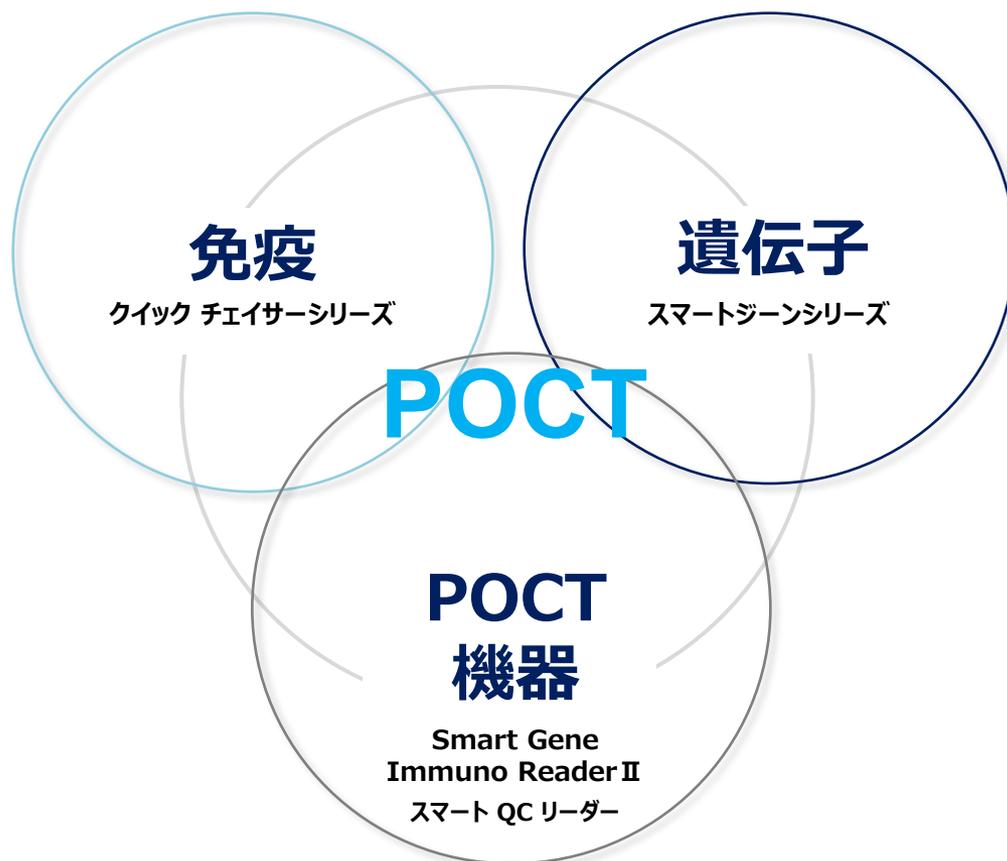
各開発品の現在のステータス



- I 会社概要
- II 2025年度 決算実績
2026年度 業績予想
- III 今後の成長戦略
- IV 事業概要（ご参考）**



病院・開業医分野



OTC・その他分野



※POCT (Point of Care Testing) : 診察室、病棟及び外来患者向け診療所など、患者に近い医療現場での検査

(1) POCT迅速診断キット(機器判定・目視判定)



▶ スマート QC リーダー(クイック チェイサーシリーズキット測定用医療機器)

デンストメトリー分析装置

スマート QC リーダー®



- ◎クイック チェイサーシリーズ (リーダー対応) の読取装置
- ◎機器による客観的な判定 (発色濃度を画像解析) が得られ、目視判定時の迷いを解消



【製品の特長】

- ◆ 選べるモード設定
 - ①ヨミトリ (反応時間経過後に機器が判定)
 - ②ジドウソクテイ (試料滴下後に自動測定)
- ◆ 検査結果は自動でプリントアウト
- ◆ 軽量 (0.7kg)、コンパクトで持ち運び可能
103×220×125mm (幅×奥行×高さ)
- ◆ 時間管理が不要 (※モードによる)

(1) POCT迅速診断キット(目視判定)



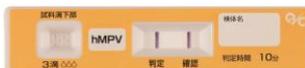
クイック チェイサー シリーズ (業界トップクラスのラインナップ)

大病院からクリニックまで、どのような医療現場でも使うことができる、POCT製品(迅速診断キット)シリーズ

呼吸器感染症検査薬



SARSコロナウイルス/
インフルエンザウイルス



hMPV



RSウイルス

消化器感染症検査薬



ノロウイルス



ロタウイルス/
アデノウイルス



クロストリジウムディフィシル



H. ピロリ

尿糞便検査薬



便潜血

研究用試薬 カルバペネマーゼ検出試薬

2026年春
発売予定



カルバペネム系抗菌薬に耐性をもたらす代表的な6種のカルバペネマーゼを迅速に検出できるイムノクロマト試薬の開発に成功しました。



➤ 高感度感染症迅速診断システム

デンシトメトリー分析装置

クイックチェイサー Immuno Reader II



◎ 当社のメンブレン技術と富士フイルム株式会社の写真現像技術
を融合した銀増幅反応により高感度化を実現

【AUTOシリーズ専用試薬】



【製品の特長】

- ◆ 早期診断が可能 (発症初期の診断精度向上)
- ◆ コンパクト化 (省スペース)
- ◆ タッチパネルの採用 (操作性・視認性向上)
- ◆ バーコードリーダー搭載 (検体ID情報等読取可)
- ◆ 装置による結果判定 (判定結果はモニター表示とプリントアウト)

Immuno Readerシリーズ 累計販売台数：約5,500台

(3) 遺伝子POCT機器試薬システム



全自動遺伝子解析システム (PCR・Qプローブ法)

全自動遺伝子解析装置 Smart Gene



- ◎ 遺伝子の抽出・PCR増幅・検出を1つのカートリッジ内で行い
コンタミなどのリスクを抑制する簡易迅速な測定操作試薬
- ◎ 2025年6月 ヘリコバクターピロリ核酸キット
「スマートジーン H.pylori S」の国内製造販売承認取得
- ◎ 2025年10月
「スマートジーン百日咳菌核酸キット」の製造販売承認申請中

【Smart Gene専用試薬】



【製品の特長】

- ◆ 迅速判定が可能
- ◆ 1ステップ自動判定。試薬ロスができません
- ◆ 核酸分子の配列情報を解析できます
- ◆ コンパクト設計の卓上タイプ
- ◆ タッチパネルでスムーズな操作

Smart Gene 累計販売台数：約5,900台

➤ 妊娠検査薬 ・ 排卵日検査薬

◎ 自社ブランド「P-チェック」での販売や大手チェーン店とのPB提携も実施

【妊娠検査薬】



【排卵日検査薬】



◎ アリナミン製薬株式会社 販売の「ハイテスターシリーズ」

【妊娠検査薬】



【排卵日検査薬】



IRに関するお問い合わせ先



株式会社ミズホメディー 総務部

電話：0942-85-0303

お問い合わせフォーム：https://www.mizuho-m.co.jp/ir/ir_contact

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。